

経営学部 岡田夢花

私は、水田三喜男記念奨学生として、約2週間にわたるハンガリー研修に参加しました。9月から始まった事前研修、現地での研修を通して学んだこと、感じたことを二つ報告します。

一つ目は、英語は完璧でなくても問題ないということです。本研修に参加するにあたり、私はハンガリー人の友達をたくさん作って帰国するという目標を立てました。そのため、研修に参加することが決まってから、毎日英語で日記を書くことを習慣化し、少しでも英語に触れる機会を増やしました。現地に到着してからは、自分の英語に自信がなく、なかなか学生に話しかけることができませんでした。ですが、現地の学生が話しかけてくれたことから、徐々に緊張も解け、自分から学生に話しかけられるようになりました。難しい単語や細かい文法など気にしては話したくても話せません。簡単な単語だけを発しても理解しようと真剣に向き合ってくれました。英語力に自信がなくても、ジェスチャーや簡単な単語だけでも意外と伝わるということを実感しました。

二つ目は、日本とは異なる環境に身を置き、文化の違いを肌で感じられたことです。建築物、乗り物、食事などで様々な違いを感じました。学生交流や市内観光を通じて、国会議事堂、ドナウ川、マーチャーシュ教会、英雄広場などの様々な景色や建築物を見に行きました。特にライトアップされた国会議事堂は、言葉では表現することのできない美しさがあり、感動しました。食事面では、ハンガリーの伝統的なスープであるグヤーシュや、ラーンゴシュというハンガリー発祥の揚げパンなどを食べました。日本とは異なる食文化にも触れることができました。

また、研修期間中に誕生日を迎え、現地で誕生日をお祝いしてくれました。本当に嬉しかったです。一生に残る思い出になりました。

今回、研修に応募して、現地に着くまで不安や緊張がありましたが、最終日には帰りたくないと思うほど充実した特別な2週間を過ごすことができました。そんなハンガリーの学生との交流を通じて、ハンガリーの魅力を知り、日本の魅力を再認識することができました。研修に参加していなければ、どれも感じることはできなかった貴重な経験です。今後は、この経験を活かし勉学や就職活動に励んでいきたいです。

最後に、国際教育センターの皆様、事前研修、現地研修でご指導していただきました先生方、フレンドリーに迎えてくれたハンガリー人学生、皆様のお力添えのおかげで充実した2週間を過ごすことができました。

本研修に携わってくださったすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

